

令和元年度事業計画について

I. 基本方針

1. 九州環境エネルギー産業推進機構（K-RIP）の方向性

- ・環境エネルギーを巡る経済社会環境は大きく変わろうとしている。
- ・2018年に3R(Reduce・Reuse・Recycle)等の一層の推進による循環型社会の構築を目指す循環型社会形成推進基本計画が改訂され、未利用資源の活用や売り切りからサービスへの転換、利用頻度が低い資源のシェア、製品寿命の延長、生産・サプライチェーンの高度化などのビジネスモデル等を通じた循環経済への転換が議論されている。
- ・また、持続可能な開発目標であるSDGs(Sustainable Development Goals)が提唱され、今後の経営や市場開拓の一つの指針として注目されている。
- ・一方、環境汚染防止・環境保全、新エネ・省エネ等の資源循環ビジネスの生産性の向上、用途を意識したリサイクル、資源循環ビジネスのアジア展開及び太陽光パネルのリユース等が課題として指摘されている。
- ・また、デジタル化等を背景とした近時の速い技術革新と短い商品サイクルへの対応が迫られている中で、自社の技術等の経営資源と外部の経営資源を結合させることが求められている。
- ・このような中、九州の環境エネルギー産業が競争力を維持・強化するためには、まず、ユーザーや九州域内外の市場のニーズや課題等の情報を把握した上で、企業や大学等とのアライアンスによる新製品・サービス、ビジネスモデル、さらにソリューションを提供することが重要である。
- ・設立20年目を迎えたK-RIPは、いち早く、時代と九州域内外の動向や会員ニーズを捉え、これまでに蓄積された技術力・人材力・ネットワーク力・組織力を活かし、顧客の価値を最大化することにより、九州を世界に通用する競争力を有した環境エネルギー産業の先導的地域とするとともに循環経済に向けた転換を目指す。
- ・さらに、21年目以降の発展を目指し、K-RIPの今後の方向性、戦略、運営方針等を検討する。

2. 令和元年度の重点事業

(1) 情報発信・ビジネスマッチング事業の推進

- ・会員ニーズを踏まえ、循環経済等の国の環境エネルギー政策や関連法令及び九州域内外の環境エネルギー市場や新しいビジネスモデルや技術等の最新動向等の情報をホームページやメルマガ等を通じて提供する。
- ・会員相互のネットワークの形成を進めるエコ塾は、マッチングによるビジネス創出を拡充するため、会員や会員外（九州域内外の大手企業等含む）企業等のニーズを発表する場として機能を強化する。エコ塾のテーマ設定に際し、環境エネルギービジネスで有効なツールであるIoTやAI等を意識し、将来を見据えた会員企業の新事業創出等に繋げる。
- ・さらに、会員の常設のビジネスマッチングの場として、会員のニーズを提案し、それを必要に応じて事務局が繋いで事業化を目指すマッチングサイトの整備を検討する。
- ・また、会員の技術シーズや国の環境エネルギー施策や補助制度の活用方法及びK-RIP事業の成功事例等を紹介する機関誌を発行する。

(2) 中核企業や協力企業群による地域経済を牽引する環境エネルギービジネスの創出

- ・食品残渣対策、プラスチック循環、環境関連技術開発等の産学連携、研究会、ビジネスマッチング等による資源循環型の成長モデルを推進する。
- ・資源循環の要素技術であるファインバブルの市場の拡大及び装置を利用した事業化を推進する。
- ・金属回収をはじめ、売れるリサイクル・リユースビジネスや水処理等の事業化を目指し、回収・リサイクル・処理・流通・販売までのバリューチェーンを構築する。
- ・協力企業群の裾野拡大と新たな中核企業の発掘に繋げるため、新製品・サービスの開発・改良及び販路拡大、情報発信等の総合的なイノベーション支援を行う。

(3) 海外ビジネス展開の深化

- ・経済発展に伴いリサイクル等の環境問題が顕在化している台湾やアセアン及び水質浄化や電力網の整備が遅れているアセアンの環境エネルギー市場への展開を深化するため、会員企業等のニーズを踏まえ、精度の高いマッチングやネットワークの形成の企画・実施を通じ、九州の環境エネルギー産業の国際競争力の強化を図る。また、アジアの環境エネルギービジネスに携わる企業等による最新のビジネス情報や市場及び国の政策等に関する情報を提供するセミナー等を開催し、アジア等への展開に必要な現地の環境団体・企業等のパートナーとのネットワークを形成する。

(4) K-RIP の今後の中長期的な運営方針等の検討

- ・近時の K-RIP を取り巻く環境の変化を踏まえ、K-RIP の 20 周年を節目として、今後の中長期的な運営方針や方向性及び組織体制等について検討する。

3. 令和元年度の事業目標

- ・令和元年度の事業目標は、次の3部会が企画・推進する事業を契機として、会員企業や参加企業において達成された、以下の指標を数値目標とする。

事業目標指標	数値目標
・新規事業数（新製品・サービス等の創出数）	14 件以上
・業務提携や取引成約数	50 件以上
・売上額	308 百万円以上
・新規雇用数	48 人以上
※生産提携、販売提携、技術提携、資本提携、秘密保持契約、MOU、販売・納入契約等	

九州・沖縄地方成長産業戦略（九州・沖縄 Earth 戦略）における「アジア・クリーンクラスター戦略分野展開プロジェクト」に掲げる設定目標（2025 年度）を基に K-RIP 事務局にて各年度目標値を設定。

「アジア・クリーンクラスター戦略分野展開プロジェクト」設定目標（2025 年度）
新規事業数：240 件（累計）、売上増加額：40 億円（同）、新規雇用数：480 人（同）」

3部会が企画・推進する事業

〈部会名〉	〈令和元年度事業〉
情報・交流部会	(1) 情報発信・ビジネスマッチング事業〈K-RIP 会費〉 ①ホームページを活用した情報提供 ②会員メルマガ配信、会員向けセミナー ③会員マッチングサイト整備の検討（既存の HP 内） ④機関誌の発行 (2) 異業種交流ネットワーク・マッチング事業〈K-RIP 会費〉 ①エコ塾 ・会員相互及び会員外（九州域内外の大手企業等含む）とのネットワーク形成とマッチング ・新しい潮流（SDGs、IoT、AI 等）の情報発信を通じた環境エネルギービジネスの創出
ビジネス創出部会	(3) K-RIP プロジェクト〈K-RIP 会費〉 ・新製品・サービスの開発・改良及び販路拡大プロジェクト ・K-RIP の公募事業 (4) 中核企業等プロジェクト支援事業〈委託費〉（注1） ①サーキュラーエコノミーアイランド九州プロジェクト ・食品残渣対策、プラスチック循環、環境関連技術開発 ・実態調査、産学連携、研究会等 ・ファインバブル産業の事業化促進事業（研究会、マッチング、用途開発、セミナー、展示会出展） ②売れるリサイクル品・リユースシステム等の開発とバリューチェーンの構築プロジェクト ・金属回収、パルプ・プラスチック、太陽光パネル、水処理 ・市場調査、リユース等のバリューチェーン構築、アジア展開、アライアンスマッチング
国際ビジネス部会	(5) 中核企業等プロジェクト支援事業〈委託費〉〈再掲〉 ①サーキュラーエコノミーアイランド九州プロジェクト ・アジア環境・リサイクル等産業交流事業 ②売れるリサイクル品・リユースシステム等の開発とバリューチェーンの構築プロジェクト ・アジア環境ビジネスセミナーの開催 ・アジア環境・リサイクル等産業交流事業 (6) 台湾環境エネルギー産業交流事業〈助成金〉（注2） ・参加企業等のニーズに沿った台湾の企業・団体等との個別ビジネスマッチング (7) 専門家派遣等による個別支援〈K-RIP 会費〉 ・専門家派遣等による個別支援（知財・マーケティング等）
その他	(8) K-RIP20 周年記念事業〈K-RIP 会費〉 ・20 周年記念事業の企画・実施 (9) K-RIP 戦略会議の設置と中長期的な運営方針等あり方の検討〈K-RIP 会費〉 ・K-RIP の今後の中長期的な運営方針、方向性、戦略、事業等の検討 (10) マネージャー、コーディネーター等によるコーディネート ・会員のニーズ等の継続的な収集とコーディネート

（注1）経済産業省の令和元年度地域中核企業ローカルイノベーション支援事業（委託費）

（注2）（公財）日本台湾交流協会助成金、（一財）貿易産業協力振興財団助成金

Ⅱ. 個別事業計画

1. 情報・交流部会

- ・最先端の情報入手から人材育成や確保、ネットワーク形成まで環境エネルギービジネスの基盤の形成を図る。

(1) 情報発信・ビジネスマッチング事業〈K-RIP 会費〉

- ・会員ニーズを踏まえ、ビジネスに有用な情報を事務局が仲介して、継続的かつきめ細かに提供する。

① 総会等の開催

- ・事業の決算や計画等を審議するとともに、環境エネルギーに関する政策やビジネス動向等を提供する総会を開催する。

② ホームページを活用した情報発信

- ・K-RIP の事業や会員企業の紹介、国等の支援制度、環境エネルギー関連の国等の助成制度や SDGs 等の九州域内外の環境エネルギーに係る動向等を発信する。

③ 会員メルマガ配信、会員向けセミナー

- ・環境エネルギー分野の新商品・サービス、IoT・AI を利用したビジネスモデル等の動向及び環境エネルギーに関連する経産省や環境省等の支援施策や法令、エネルギー基本計画等の重要な計画、大学等の研究活動、九州域内外の市場ニーズ等の最新動向を配信するとともに新しいビジネス潮流（SDGs、AI、IoT、シェアリング、センシング等）等に関する会員向けセミナーを開催する。

④ 会員マッチングサイト整備の検討

- ・K-RIP のホームページに、マッチングを要望する会員の技術や市場等のニーズ（困りごと）を掲示し、マッチングの機会を提供するとともに、必要に応じて事務局が仲介して繋ぎを行う仕組み・整備について検討する。

⑤ 機関誌の発行

- ・会員の技術や国の環境エネルギー施策や補助制度の活用方法等の紹介及び K-RIP 事業の成功事例、会員企業等の対談等を紹介する機関紙を発行する。

(2) 異業種交流ネットワーク・マッチング事業〈K-RIP 会費〉

① エコ塾

- ・環境エネルギー分野の異業種交流及びビジネスマッチングを目的として、福岡市中心に九州域内で開催する。
- ・特に、会員ニーズを踏まえ、環境エネルギー関連の技術やノウハウ等を有し、それを利用した新事業へ展開している又は想定している企業や研究者等による取り組みと技術や市場の課題を発表し、参加者とのマッチングを強化するとともに、エコ塾のプレゼン等の動画配信を検討する。
- ・また、具体的なビジネスマッチングを強化するため、九州域内外の大手企業等を招聘し、技術的なニーズを発表し、参加企業とのマッチングやネットワークの形成を支援する。
- ・さらに、外部機関（九州域内外の大手企業等含む）と連携したセミナーや先導企業等の視察会等を実施する。

2. ビジネス創出部会

- ・環境エネルギー産業の競争力の強化、環境ビジネスの育成、環境に配慮した企業経営の促進、環境エネルギー技術開発等を通じ、環境と経済が両立した経済社会の構築を図る。また、九州域外の企業等との広域マッチング事業を通じ、会員企業等の販路開拓等支援体制を構築する。

(3)K-RIP プロジェクト〈K-RIP 会費〉

- ・環境エネルギー関連企業の新商品・サービスの開発、ビジネスモデルの創出を目的として、新製品の試作・開発、既存製品の改良等の事業を対象とした会員向けの公募事業として、必要な経費の一部を助成する。
- ・なお、K-RIP プロジェクトの成果を評価するため、事業中の定期的なフォローを行うとともに、事業終了後においても、次のステップへ進むための外部資金の獲得や取引候補企業とのマッチングなどの継続的なフォローを行う。

(4)中核企業等プロジェクト支援事業〈委託費〉

- ・環境エネルギー産業のイノベーションを牽引する地域中核企業と協力企業群に対して、新事業への挑戦を促すために、支援機関が連携した支援機関ネットワークを構築し、支援体制を強化するとともに、事業体制の整備、事業化戦略の策定、研究開発技術の発掘、販路を意識した製品開発、海外も含めた販路開拓までの各事業段階に応じた支援を行う。
- ・また、協力企業群の裾野拡大と新たな中核企業発掘に繋げるため、新製品・サービスの開発・改良及び販路拡大、情報発信等の総合的なイノベーション支援を行う。

①サーキュラーエコノミーアイランド九州プロジェクト

- ・中核企業と協力企業群による食品残渣対策、プラスチック循環、環境関連技術開発等の新事業創出のための実態調査、産学連携体制の構築、研究会、展示会出展大手企業とのビジネスマッチング等を行う。
- ・ファインバブル産業の事業化促進事業(研究会)を行う。
ナノサイズの微細気泡(ファインバブル/マイクロナノバブル)は、洗浄や殺菌、生理活性等の効果を有し、排水処理、水質改善、水耕栽培や養殖等の一次産業、食品、美容、医療など多方面での研究開発及び実用化に関心が高まっており、省エネルギー・低環境負荷を実現する技術として期待されている。
- ・九州のファインバブルの装置メーカー等の集積を活かし、ソリューションの創出と産業利用の推進を目的としたワーキンググループ(WG)を設置し、研究会、セミナー、展示会、現地視察会及び活用事例集の改訂等を通じ、K-RIP 発のイノベーションを目指す。

②売れるリサイクル品・リユースシステム等の開発とバリューチェーンの構築プロジェクト

- ・中核企業と協力企業群による金属回収、パルプ・プラスチックリサイクル、水処理分野の新事業創出のための市場調査、リユース等のバリューチェーン構築、アジア展開、アジアの企業・団体等とのマッチング等を行う。
- ・中核企業と協力企業群にて低圧産業用太陽光発電の出力の維持やメンテナンスビジネスのニーズ等の調査を行うとともに、リユースやリサイクルの具体的なビジネスを支援する。

- ・九州の環境エネルギー関連企業と九州域外の企業等との地域の枠を越えたバリューチェーンの構築及びアライアンスの形成を目的として、他地域の産業支援機関等と連携し、「環境ビジネスアライアンスマッチングセミナー」を実施する。参加企業から技術や販売等に関する具体的なアライアンスモデルを提示した上で、これに対応できる企業とのオープンイノベーション型マッチングセミナーを実施する。開催地域は九州、沖縄、関東地域等を予定。

3. 国際ビジネス部会

- ・アセアンの新興国や台湾等をはじめ、アジア地域において環境エネルギー市場が急速に拡大している背景を踏まえ、九州の環境エネルギービジネスに携わる企業の海外展開支援の枠組みの構築を図る。

(5) 中核企業等プロジェクト支援事業〈委託費〉〈再掲〉

- ・環境先進地域として、九州が有する経験・技術を広く世界に移転・普及し、地球規模での環境問題の解決に貢献することが重要である。
- ・そのため、九州のリユース、リサイクル、リデュースや水質浄化等の環境保全技術等をアジア等に移転し、市場の拡大を図るとともに、国際的な資源循環システムの構築を推進する。

①サーキュラーエコノミーアイランド九州プロジェクト

- ・サーキュラーエコノミーに関する国際的な動向等について調査・分析し、会員企業等に対して情報提供を行う。また、当該プロジェクトにおいて生み出された資源循環等分野におけるシーズ情報や取組事例等について、今後の海外展開に向けた可能性を探る。

②売れるリサイクル品・リユースシステム等の開発とバリューチェーンの構築プロジェクト

1) アジア環境ビジネスセミナー

会員企業等の今後の海外ビジネスの情報収集や展開を支援するため、経済成長や人口増加に伴い環境汚染防止や環境保全・修復、リサイクル、エネルギー等の需要が増えるアジアの国々の最新の政策や市場動向等について現地の産業支援機関等の専門家やコーディネーターによるセミナーを開催するとともに、交流会を通じ、参加企業の交流及びネットワークの拡大を図る。

2) アジア環境・リサイクル等産業交流事業

環境エネルギー分野の技術・装置・システム・ノウハウの販売、現地生産のための実証・業務提携などの会員企業等の具体的なニーズや課題を把握した上でアセアンをはじめとしたアジア諸国の企業等とのビジネスマッチングを行う。

また、同地域からの環境・エネルギー分野のミッション団の受入れについても先方の具体的なシーズやニーズを把握し、会員企業等との効果的なマッチングや情報収集や相互交流を行う。

さらに従来のアセアンとの交流による経験を水平展開することを目的に、企業からの要望を踏まえ、今後の展開可能性と現地課題を調査する現地調査ミッション等の企画・実施に努める。

対象国は、ベトナム、タイ、フィリピン、インドネシア他要望国。

(6) 台湾環境・エネルギー産業交流事業

[(公財) 日本台湾交流協会助成金、 (一財) 貿易産業協力振興財団助成金]

- ・ 経済面での輸出依存等からの脱却を目指す台湾では、内需創出や新産業育成に積極的に取り組んでいる。その中でも、グリーンエネルギー、循環経済、IoT 等の産業創出・育成に力を入れている。また、日本等との連携による新興国開拓（新南向政策）も積極的に推進しており、このような台湾の情勢を踏まえ、会員企業等のニーズを把握した上で、台湾の有望な環境エネルギー分野における情報の発信、さらに現地展示会への出展等も活用して業界団体・企業等とのマッチングや交流を行い、事業化プロジェクトの形成や業務提携等の具体的なビジネスの創出に推進する。

(7) 専門家派遣等による個別支援〈K-RIP 会費〉

- ・ 外部資金等（技術開発補助金、F/S 調査、設備投資支援事業、海外展開補助金、JICA・JETRO・NEDO 事業等）を活用したサポートを行うとともに、技術開発、海外展開、法務、知財、経営、金融、マーケティング等の相談に対応する専門家と提携し、企業の課題や相談に応じて適切なアドバイスや繋ぎ等のコーディネートを行う。
- ・ また、必要に応じてターゲット分野の専門家や関係する支援機関のコーディネーター等と提携し、不足するリソースの補完やパートナー企業の発掘等を支援する。

4. その他

(8) K-RIP20 周年記念事業〈K-RIP 会費〉

- ・ 20 周年を記念し、K-RIP のこれまでの歩みを振り返るとともに、20 年間の経済社会の変化と会員ニーズを踏まえた今後の K-RIP の方向性の指針を提案する記念事業を行う。

(9) K-RIP 戦略会議の設置とあり方の検討〈K-RIP 会費〉

- ・ K-RIP 会員数の減少傾向や循環経済・SDGs をはじめとする世界的な動きなど、近時の K-RIP を取り巻く環境の変化を踏まえ、K-RIP の 20 周年を節目として、今後の中長期的な運営方針や方向性及び組織体制等について、K-RIP 戦略会議（規約第 29 条）を開催し、検討する。

(例) 既存会員の事業への参加の拡大や新規会員を増やす方策検討等

(10) マネージャー、コーディネーター、補助員の配置〈K-RIP 会費・委託費の内数〉

- ・ 環境・リサイクル・エネルギー分野の産業、政策・制度、企業等の最新の動向に精通し、会員企業等の相談に応じ、九州域内外の自治体・産業支援機関、外国政府や環境関連団体等と連携・協力して、会員企業等の新商品・サービスの開発、ビジネスモデルや新事業の創出のための具体的なプロジェクトや個別事業の企画運営とフォロー等を行うとともに、将来の環境エネルギービジネスの芽となるような事業等を企画・実施するマネージャー及びコーディネーターを配置する。
- ・ また、マネージャー及びコーディネーターの業務をサポートする補助職員を配置する。